

2023年度 研究、教育、社会・学会活動報告書

1. 研究（本年度のみ）

ふりがな	うえだ けんじ		職 位	講 師	学 位	修士（文学） 修士（メディア 表現）
教員氏名	植田 憲司					
アルファベット表記						
専門分野		美学美術史学、情報文化論、博物館学				
研究課題	テーマ	メディアテクノロジー環境におけるメディア表現に関する研究				
	概要	従来の美術史、芸術学的手法の研究とともに、メディア考古学のアプローチからの研究、また新しいメディア表現に関わる作品の保存や修復について研究している。また、展覧会キュレーションの実践も行っている。				
本年度 研究業績	研究費	総額：250,000円 内訳：個人研究費 250,000円 / 科学研究費 円 そ の 他 円				
	研究テーマ	京都における占領期カラー写真の研究				
	経過と到達点	占領期のカラー写真についての調査を行い、新たな写真とその周辺資料を収集した。昨年度末に京都文化博物館で展覧会を開催し、その成果を書籍として出版し、いくつかの雑誌や新聞で書評記事が掲載され、講演会でも発表を行った。				

(1) 学術論文

	論文等の名称	発行年月 (西暦)	単・共著 の別	発表雑誌等	概要
①英文査読論文					
②和文査読論文					
③英文論文					
④和文論文					
⑤紀要論文					
⑥紀要研究 ノート、専門 誌記事等					

⑦学会での 口頭発表、討 論者(ディス カッサント)	タイムベースト・ メディア作品とコ ンサヴァターの役 割(2)(予定)	2024年3 月6日	単独	経営・情報学会研究 報告会 2023 年度 第2回	映像やコンピュータなど新し いメディアを使用した芸術作 品の保存や修復におけるコン サヴァターの役割について検 討する。
-------------------------------------	--	---------------	----	---------------------------------	--

(2) 著書

	著書名	発行年月 (西暦)	発行所等の名称	概要
⑧共著書・ 共訳書				
⑨単著書・ 単訳書				

(3) 外部研究資金獲得(競争的資金獲得)

	研究テーマ (代表研究者名)	期間年月 (西暦)	研究項目の名称 (文科省科研費等)	概要
⑩共同研究 (研究代表)				
⑪単独研究				
⑫共同研究 (分担研究)	芸術と社会—近代に おける創造活動の諸 相(代表 高階絵里加)	2020年4 月から 2024年3 月	京都大学人文科学研 究所 共同利用・共 同研究拠点 共同研 究プロジェクト	本研究会は、美術を中心に、歴史、 文学、映像、デザイン等の分野にお ける、広い意味での近代における芸 術作品・芸術家と社会の多様な結び つき的一端を明らかにすることを めざす。
⑬科学研究 助成事業(日 本学術振興 会)申請	※ 申請した場合は「申請」と記入。 申請			

2. 教 育 (本年度のみ)

担当科目		前 期	後 期
		科目名	科目名
	講義	情報と文化 情報処理概論 情報管理論	コンピュータグラフィックス フィジカルコンピューティング 地域創生論

	演習	基礎ゼミ ゼミナールⅡ	ゼミナールⅢ ゼミナールⅠ
	実習		
教育内容・方法 の工夫	◆ 講義科目	<ul style="list-style-type: none"> 講義科目では、スライド画像を活用して講義内容を理解しやすくし、また、テーマに関する動画や映画の一部を授業内で紹介することで、講義のテーマに親しみを持てるように配慮している。 講義でのテーマに関連するスケッチ、フィールドワーク課題を課すことで、学生が自身の手や足、目を使ってひとつのテーマを理解するよう促している。 PCでのソフトウェア、ハードウェアの操作技術の習得を目的にする講義では、それらのソフトウェア等に関わる根本的な概念や背景にある文化について概説し、学生がより深い理解に至るよう工夫している。 	
	◆ 演習科目	<ul style="list-style-type: none"> ゼミナールでは、デザインという視点を持って社会を捉え直すことを目標としている。サーキュラーデザイン、情報社会、多文化主義等の時事問題を扱った新聞記事やエッセイを取り上げ、デザインやメディアという視点からグループディスカッションやプレゼンテーションの課題を課した。 デザイン思考という観点から、グループワークとして、アイデアスケッチを取り入れたワークショップや写真を使った講評WSを行なった。また、毎週、2分間のライトニングトークをゼミ生に課している。 	
	実習科目		
	◆ その他（教科書・教材等の作成を含む。）		

(1) 課外活動

①研修旅行 海外	
②研修旅行 国内	

3. 社会・学会活動（本年度のみ）

(1) 公的委員会

分 類	活動・講演の概要
①委員長・座長 国・国際機関	
②委員長・座長 上記以外	
③委員・アドバイザー 国・国際機関	
④委員・アドバイザー 上記以外	第19回京都現代写真作家展実行委員（京都府） 京都府 職員ふれあいフェスタ 2023（写真の部）審査員（京都府）

(2) 学術団体の理事（日本学術会議協力学術研究団体）

分 類	活動・講演の概要
⑤理事長・会長	
⑥理事	日本記号学会 理事

(3) 講演会

分 類	活動・講演の概要
⑦講演者・登壇者・学会座長	シンポジウム「京都∞写真 一過去・現在・未来をつなぐもの」登壇者 (2023年12月17日、京都府京都文化博物館フィルムシアター) フォーラム「動植物標本のデジタル化の意義と京都の文化と生物多様性(仮題)」(2024年3月17日(予定)、京都府立京都学・歴彩館 大ホール) 講演者

4. 特記事項（本年度のみ）

・連続講座「哲学とアートのための12の対話」の実行委員（京都芸術センターパートナーシップ・プログラム、2023年5月13日-3月9日、計12回）
--